

大人の 社会学 見学

「社会交流会館 星塚の歴史」 歴史資料館

国立ハンセン病療養所 星塚敬愛園



国立ハンセン病療養所
星塚敬愛園
星塚町4204
☎0994-49-2500
◎開館時間=9:00~16:30
◎休館日=土・日曜日、
祝日、年末年始



ナビゲーター

国立ハンセン病療養所
星塚敬愛園 自治会長 岩川洋一郎さん



四畳半の夫婦部屋を再現したコーナー

国立ハンセン病療養所星塚敬愛園は、ハンセン病患者を収容するために昭和10年に開園された施設で、現在はハンセン病の後遺症を持つ高齢者が、終の棲家として暮らし、医療・看護・介護を提供する施設となっています。今回は、園内にある歴史資料館「社会交流会館 星塚の歴史」について、星塚敬愛園の自治会長である岩川洋一郎さんに紹介していただきました。

『社会交流会館 星塚の歴史』は、平成26年12月にリニューアル



エントランスは講演会や企画展の会場として活用されている

「社会交流会館 星塚の歴史」は、園内で過ごした方々の苦難の歴史を今に伝える展示を通して、ハンセン病に関する知識の普及と啓発を行うとともに、園内外の人々が交流できるようにと、改築されたものです。

会館には、園内で実際に使われた様々な道具が展示されています。ボタン通しや、電話の受話器など、不自由な手足でも使えるように自分たちで工夫した道具、園内でのみ使用が許された園内通貨「園金」、映画館に自由に行けなかったために園内に設けられた映写機な

ど、約150点が並んでいます。使用していた資料を実際に目にしたり、触れたりすることで、書物では伝わらない生活を身近に感じられます。歴史的価値の高い資料は、まだ園内に眠っているはず。今後も資料を収集し、展示物を増やしたいと思っています。このほか、ハンセン病問題の歴史を伝えるパネルや書籍などが展示されています。

会館には月平均で約150人が訪れています。今年8月末には来館者数5,000人を達成しました。展示資料は、一世紀にも渡る国の隔離政策で苦難を強いられた方々の生きた証。今後も、学びの場、交流の場として、もっと多くの方々が来館され、ハンセン病問題について知っていただき、差別や偏見の無い社会にしてほしいと願っています」